

2017年3月8日

平成28年度第2回国産水産物流通促進事業セミナー

国産水産物流通促進センター
構成員 一般社団法人 大日本水産会
魚食普及推進センター

機能性表示食品と 水産関連企業・団体の動き

平成27年(2015年)4月から始まった「機能性表示食品」制度は、本年3月で丸2年が経過し、4月から3年目を迎えます。昨年12月末時点での消費者庁への届出受理数はようやく606件となり、そのうち半数以上(339件)が加工食品の形態をとり、残りの半数近くがいわゆるサプリメント形状の製品(262件)になっています。水産物の代表的な健康機能成分であるDHA・EPAを機能性関与成分とする製品は合計54件となり難消化性デキストリン(85件)に次いで2番目に多い届出になっています。また、この制度では「生鮮食品」も対象となり他国の類似制度にない特徴になっていますが、現状は農産物が5品届出されているだけで水産物・畜肉生鮮品の届出・受理はまだ発表されていません。

「機能性表示食品」制度が始まり、水産関連企業や団体からもこの制度に適合する商品開発やマーケティングに着手したり、活用の希望を持っているところがあります。今回は実際に「機能性表示食品」の届出が受理され製品を販売されているマルハニチロ株式会社と日本水産株式会社から各社の取組みと現状・反応などをご報告頂きます。同時に、ヤマニ井原水産株式会社からは北海道食品機能性表示制度(ヘルシーDo)に認定された「魚卵」の機能性について、また全国かまぼこ連合会からは「魚肉タンパク」の機能性研究の重要性についてお話をいただきます。両者とも「機能性表示食品」としての活用を展望されながら調査・研究活動を行っています。水産物の健康機能性について研究されている水産研究・教育機構からは、水産物の機能性関与成分や本制度に関する全体的なお話を伺います。水産物の健康機能性は魚食の大きな動機になると考えており、今回のセミナーで「機能性表示食品」制度を水産物の消費拡大にどのように活用できるか皆様と考えたいと思います。是非ご参加下さい。

【プログラム】

1. 開催日：2017年3月8日（水曜日） 13:30～16:00
2. 会場：三会堂ビル 8F 大日本水産会 大会議室
3. 主催：国産水産物流通促進センター（構成員：一般社団法人大日本水産会）
4. 後援：一般社団法人大日本水産会おさかな普及協議会（マルハニチロ株式会社

会社、日本水産株式会社、株式会社ニチレイフレッシュ、株式会社極洋、一般社団法人全国水産卸協会、全国水産物卸組合連合会、全国水産物商業協同組合連合会、全国水産加工業協同組合連合会、全国漁業協同組合連合会)

5. プログラム：

13:00 開場

13:30～ 開会：主催者挨拶、事務局連絡

13:40～

講演1（20分） 小西 達也様

マルハニチロ株式会社 中央研究所 リサーチ2課 課長補佐

講演2（20分） 棟方 正信様

ヤマニ井原水産株式会社 顧問（北海道大学名誉教授）

講演3（20分） 奥野 勝様

全国かまぼこ連合会 専務理事

休憩（10分）

14:50～

講演4（20分） 柳本 賢一様

日本水産株式会社 生活機能科学研究所 主任研究員

講演5（30分） 金庭 正樹様

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 研究推進部 研究主幹

15:40～ 質疑応答（20分）

16:00 終了

以上